

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名		地域結核対策委員会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	学校教育課	担当者名	吉山 真貴子
	施策の柱	20	病気の早期発見			所属班	学務指導班	(内線)	5325
予算科目	会計一般	款10	項1	目3	事業連番10663	根拠法令	結核予防法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				
						成果優先度評価結果		: ⑫	
						コスト削減優先度評価結果		: ⑥	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるようにこの事業が始まった。 児童生徒の結核感染の早期発見や、患者発生時の素早い対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるようにする。
【業務の流れ】	○学校における結核検診の実施状況・結果の把握 ○患者発生時に関係機関と協力し対策を検討 ○精密検査対象児童生徒の管理方針の検討(精密検査や経過観察の指示等に関する専門的検討) ○地域と連携し、学校の結核管理方針を検討する。メンバー(菊池保健所長・結核の専門医(2名)・学校医代表(1名)・医師会代表(1名)・学校保健会代表・養護教諭部会会長・会長)※平成28年度においては、学校代表と医師会代表を1名で兼務している。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活をおくることのできるようにした。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 結核対策委員会開催回数	回	各年の余剰金の累積により、29年度から負担金の減額を行い、余剰金を減らすことが結核対策委員会内で決定したことに伴い、昨年から引き続き例年より低い金額での負担となる。
イ: 養護教諭部会開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
各小中学校養護教諭	人	→ ア: 各小・中学校養護教諭
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
学校における、児童生徒の結核予防・早期発見ができるようにする。	%	→ ア: 当該年度における結核発件数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活をおくることのできるようにするため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ	回	13	7	7	8	7	7	7	7
② 対象指標	ア	人	12	15	15	15	15	15	15	17
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	30	29	17	17	17	18	18	18
	(A) 事業費計	千円	30	29	17	17	17	18	18	18
(A)のうち指定経費	千円	30	29	17	17	17	18	18	18	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	20	155	70	55	70	70	70	70
	(B)人件費計	千円	74	0	278	217	278	278	278	278
トータルコスト(A)+(B)	千円	104	29	295	234	295	296	296	296	

事務事業名	地域結核対策委員会参画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活をおくることができる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より効果的な全児童生徒の結核対策管理方針等さらに郡市の関係者の情報交換、研修等を進める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業無し
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の負担金支出であり削減の余地はない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の業務時間であり削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により一部の個人又は団体が利益を得ることはない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校における健康管理体制に関わる部分であるため、役割分担はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活をおくることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						